

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 埼玉県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	循環器・呼吸器病センター	2
-	がんセンター	3
-	小児医療センター	4
-	精神医療センター	5
さいたま市	市立病院	6
川口市	医療センター	7
秩父市	市立病院	8
所沢市	市民医療センター	9
東松山市	市民病院	10
春日部市	春日部市立医療センター	11
草加市	草加市立病院	12
越谷市	越谷市立病院	13
蕨市	市立病院	14
小鹿野町	国民健康保険町立小鹿野中央病院	15

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	埼玉県
				市町村・組合名	
				病院名	循環器・呼吸器病センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,523 m ²	指定病院の状況	臨感地		
診療科数	17	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	292	83.0	77.8	76.0
療養	-	-	-	-
結核	30	47.4	36.6	50.4
精神	-	-	-	-
感染症	21	7.2	-	-
計	343	75.2	69.4	69.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	13.8	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	7,266,534	
決算規模(千円)	1,746,304,493	
標準財政規模(千円)	1,201,498,278	
財政力指数	0.76907	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	185.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.0
修正医業収益(千円)	10,179,667

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,345,237			
1 経常収益	13,255,355			
(1) 医業収益	10,415,516			
入院収益	7,813,157			
外来収益	2,204,034			
診療収入計	10,017,191			
その他医業収益	398,325			
(うち他会計負担金)	235,849			
(2) 医業外収益	2,839,839			
(うち国・都道府県補助金)	1,666			
(うち他会計補助・負担金)	2,517,110			
(うち長期前受金戻入)	286,201			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	89,882			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,142,970			
2 経常費用	14,141,945			
(1) 医業費用	13,392,094			
職員給与費	6,211,829	59.6	55.7	57.0
材料費	3,934,708	37.8	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,001,971	9.6	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,865,644	27.5	11.0	11.3
減価償却費	1,105,142	10.6	9.0	9.3
経費	2,076,661	19.9	23.3	22.1
(うち委託料)	1,184,756	11.4	11.5	11.1
研究研修費	56,479			
資産減耗費	7,275			
(2) 医業外費用	749,851			
(うち支払利息)	112,193	1.1	1.4	1.4
(3) 特別損失	1,025			
損益				
経常損益	-886,590			
純損益	-797,733			
累積欠損金	2,997,624			
経常収支比率	93.7		97.7	96.4
医業収支比率	77.8		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	20.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	26.4		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	20.6		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	74.3		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	113,756,807
1 固定資産	92,291,774
(1) 有形固定資産	86,756,963
(2) 無形固定資産	2,043,389
(3) 投資その他の資産	3,491,422
2 流動資産	21,465,033
(1) 現金及び預金	14,108,871
(2) 未収金及び未収収益	7,387,384
(3) 貸倒引当金()	232,964
(4) 貯蔵品	190,502
3 繰延資産	-
負債合計	98,479,298
1 固定負債	80,382,385
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	74,388,932
(2) その他の企業債	921,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,900,380
(7) リース債務	171,973
2 流動負債	12,678,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,774,368
(2) その他の企業債	107,200
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,630,458
(6) リース債務	85,785
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,824,394
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,418,676
(1) 長期前受金	19,212,365
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,793,689
資本合計	15,277,509
1 資本金	29,886,287
2 剰余金	-14,608,778
(1) 資本金剰余金	5,389,638
(2) 利益剰余金	-19,998,416
負債・資本合計	113,756,807
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,752,959	2,752,959
資本勘定繰入	528,330	528,330
計	3,281,289	3,281,289

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	埼玉県
				市町村・組合名	
				病院名	がんセンター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	68,824 m ²	指定病院の状況	臨カ		
診療科数	22	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	503	76.6	73.0	73.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	503	76.6	73.0	73.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	13.3	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	7,266,534	
決算規模(千円)	1,746,304,493	
標準財政規模(千円)	1,201,498,278	
財政力指数	0.76907	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	185.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.7
修正医業収益(千円)	18,220,019

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,924,625			
1 経常収益	21,873,403			
(1) 医業収益	18,254,781			
入院収益	9,641,806			
外来収益	7,752,456			
診療収入計	17,394,262			
その他医業収益	860,519			
(うち他会計負担金)	34,762			
(2) 医業外収益	3,618,622			
(うち国・都道府県補助金)	43,707			
(うち他会計補助・負担金)	2,679,991			
(うち長期前受金戻入)	698,956			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	51,222			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	21,807,698			
2 経常費用	21,807,698			
(1) 医業費用	20,536,611			
職員給与費	8,230,721	45.1	55.7	49.1
材料費	7,031,075	38.5	24.7	29.1
(うち薬品費)	5,002,948	27.4	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,923,904	10.5	11.0	12.7
減価償却費	1,729,692	9.5	9.0	8.4
経費	3,315,028	18.2	23.3	20.7
(うち委託料)	1,950,526	10.7	11.5	11.6
研究研修費	209,738			
資産減耗費	20,357			
(2) 医業外費用	1,271,087			
(うち支払利息)	233,124	1.3	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	65,705			
純損益	116,927			
累積欠損金	6,792,948			
経常収支比率	100.3		97.7	98.8
医業収支比率	88.9		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.4		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	14.9		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	12.4		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	87.9		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	113,756,807
1 固定資産	92,291,774
(1) 有形固定資産	86,756,963
(2) 無形固定資産	2,043,389
(3) 投資その他の資産	3,491,422
2 流動資産	21,465,033
(1) 現金及び預金	14,108,871
(2) 未収金及び未収収益	7,387,384
(3) 貸倒引当金()	232,964
(4) 貯蔵品	190,502
3 繰延資産	-
負債合計	98,479,298
1 固定負債	80,382,385
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	74,388,932
(2) その他の企業債	921,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,900,380
(7) リース債務	171,973
2 流動負債	12,678,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,774,368
(2) その他の企業債	107,200
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,630,458
(6) リース債務	85,785
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,824,394
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,418,676
(1) 長期前受金	19,212,365
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,793,689
資本合計	15,277,509
1 資本金	29,886,287
2 剰余金	-14,608,778
(1) 資本金剰余金	5,389,638
(2) 利益剰余金	-19,998,416
負債・資本合計	113,756,807
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,714,753	2,714,753
資本勘定繰入	538,080	538,080
計	3,252,833	3,252,833

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	埼玉県
				市町村・組合名	
				病院名	小児医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	65,447 m ²	指定病院の状況	救臨 災地		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	316	81.4	77.7	81.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	316	81.4	77.7	81.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	12.1	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	7,266,534	
決算規模(千円)	1,746,304,493	
標準財政規模(千円)	1,201,498,278	
財政力指数	0.76907	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	185.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.8
修正医業収益(千円)	12,158,182

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,162,590			
1 経常収益	19,107,566			
(1) 医業収益	13,253,796			
入院収益	9,032,484			
外来収益	2,846,063			
診療収入計	11,878,547			
その他医業収益	1,375,249			
(うち他会計負担金)	1,095,614			
(2) 医業外収益	5,853,770			
(うち国・都道府県補助金)	124,440			
(うち他会計補助・負担金)	4,934,024			
(うち長期前受金戻入)	666,857			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	55,024			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,989,700			
2 経常費用	19,351,560			
(1) 医業費用	18,211,067			
職員給与費	8,782,398	66.3	55.7	57.0
材料費	3,859,645	29.1	24.7	24.5
(うち薬品費)	2,294,432	17.3	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,512,667	11.4	11.0	11.3
減価償却費	2,462,883	18.6	9.0	9.3
経費	3,021,358	22.8	23.3	22.1
(うち委託料)	1,668,464	12.6	11.5	11.1
研究研修費	82,558			
資産減耗費	2,225			
(2) 医業外費用	1,140,493			
(うち支払利息)	203,878	1.5	1.4	1.4
(3) 特別損失	638,140			
損益				
経常損益	-243,994			
純損益	-827,110			
累積欠損金	9,954,332			
経常収支比率	98.7		97.7	96.4
医業収支比率	72.8		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	31.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	45.5		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	31.5		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	67.6		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	113,756,807
1 固定資産	92,291,774
(1) 有形固定資産	86,756,963
(2) 無形固定資産	2,043,389
(3) 投資その他の資産	3,491,422
2 流動資産	21,465,033
(1) 現金及び預金	14,108,871
(2) 未収金及び未収収益	7,387,384
(3) 貸倒引当金()	232,964
(4) 貯蔵品	190,502
3 繰延資産	-
負債合計	98,479,298
1 固定負債	80,382,385
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	74,388,932
(2) その他の企業債	921,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,900,380
(7) リース債務	171,973
2 流動負債	12,678,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,774,368
(2) その他の企業債	107,200
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,630,458
(6) リース債務	85,785
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,824,394
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,418,676
(1) 長期前受金	19,212,365
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,793,689
資本合計	15,277,509
1 資本金	29,886,287
2 剰余金	-14,608,778
(1) 資本金剰余金	5,389,638
(2) 利益剰余金	-19,998,416
負債・資本合計	113,756,807
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,029,638	6,029,638
資本勘定繰入	967,631	967,631
計	6,997,269	6,997,269

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	埼玉県
		市町村・組合名	
		病院名	精神医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,254 m ²	指定病院の状況	
診療科数	5	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	183	82.9	82.9	81.1
感染症	-	-	-	-
計	183	82.9	82.9	81.1
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	7,266,534	
決算規模(千円)	1,746,304,493	
標準財政規模(千円)	1,201,498,278	
財政力指数	0.76907	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	185.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,470,818			
1 経常収益	3,468,235			
(1) 医業収益	2,368,543			
入院収益	1,822,783			
外来収益	211,830			
診療収入計	2,034,613			
その他医業収益	333,930			
(うち他会計負担金)	243,506			
(2) 医業外収益	1,099,692			
(うち国・都道府県補助金)	2,439			
(うち他会計補助・負担金)	951,590			
(うち長期前受金戻入)	121,270			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,583			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,490,329			
2 経常費用	3,490,329			
(1) 医業費用	3,411,435			
職員給与費	2,342,492	98.9	55.7	98.9
材料費	153,159	6.5	24.7	8.8
(うち薬品費)	83,273	3.5	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,042	1.3	11.0	1.1
減価償却費	297,547	12.6	9.0	12.7
経費	601,066	25.4	23.3	34.6
(うち委託料)	353,383	14.9	11.5	17.1
研究研修費	12,973			
資産減耗費	4,198			
(2) 医業外費用	78,894			
(うち支払利息)	1,378	0.1	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-22,094			
純損益	-19,511			
累積欠損金	253,512			
経常収支比率	99.4		97.7	98.9
医業収支比率	69.4		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	34.5		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	50.5		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	34.4		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	65.1		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	113,756,807
1 固定資産	92,291,774
(1) 有形固定資産	86,756,963
(2) 無形固定資産	2,043,389
(3) 投資その他の資産	3,491,422
2 流動資産	21,465,033
(1) 現金及び預金	14,108,871
(2) 未収金及び未収収益	7,387,384
(3) 貸倒引当金()	232,964
(4) 貯蔵品	190,502
3 繰延資産	-
負債合計	98,479,298
1 固定負債	80,382,385
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	74,388,932
(2) その他の企業債	921,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,900,380
(7) リース債務	171,973
2 流動負債	12,678,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,774,368
(2) その他の企業債	107,200
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,630,458
(6) リース債務	85,785
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,824,394
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,418,676
(1) 長期前受金	19,212,365
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,793,689
資本合計	15,277,509
1 資本金	29,886,287
2 剰余金	-14,608,778
(1) 資本金剰余金	5,389,638
(2) 利益剰余金	-19,998,416
負債・資本合計	113,756,807
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.3
修正医業収益(千円)	2,125,037

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,195,096	1,195,096
資本勘定繰入	104,931	104,931
計	1,300,027	1,300,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	埼玉県
				市町村・組合名	さいたま市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	64,382 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	29	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	577	79.5	86.4	84.3
療養	-	-	-	-
結核	20	19.2	40.8	30.8
精神	30	5.3	-	-
感染症	10	3.8	-	-
計	637	72.6	83.2	80.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	11.9	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	1,263,979	
決算規模(千円)	547,430,304	
標準財政規模(千円)	301,289,416	
財政力指数	0.98	
経常収支比率(%)	98.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	32.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.2
修正医業収益(千円)	14,964,706

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,837,938			
1 経常収益	17,497,419			
(1) 医業収益	15,387,404			
入院収益	11,373,633			
外来収益	3,370,550			
診療収入計	14,744,183			
その他医業収益	643,221			
(うち他会計負担金)	422,698			
(2) 医業外収益	2,110,015			
(うち国・都道府県補助金)	40,770			
(うち他会計補助・負担金)	1,834,008			
(うち長期前受金戻入)	114,789			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	340,519			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,726,503			
2 経常費用	19,059,072			
(1) 医業費用	18,195,828			
職員給与費	8,644,861	56.2	55.7	49.1
材料費	3,817,911	24.8	24.7	29.1
(うち薬品費)	1,732,770	11.3	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,085,141	13.6	11.0	12.7
減価償却費	1,494,276	9.7	9.0	8.4
経費	4,194,855	27.3	23.3	20.7
(うち委託料)	1,691,186	11.0	11.5	11.6
研究研修費	38,763			
資産減耗費	5,162			
(2) 医業外費用	863,244			
(うち支払利息)	43,721	0.3	1.4	1.2
(3) 特別損失	1,667,431			
損益				
経常損益	-1,561,653			
純損益	-2,888,565			
累積欠損金	2,003,990			
経常収支比率	91.8		97.7	98.8
医業収支比率	84.6		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.9		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	14.7		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	12.7		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	80.0		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	49,175,972
1 固定資産	44,059,915
(1) 有形固定資産	39,858,764
(2) 無形固定資産	1,185,939
(3) 投資その他の資産	3,015,212
2 流動資産	5,116,057
(1) 現金及び預金	1,791,303
(2) 未収金及び未収収益	3,250,341
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	69,942
3 繰延資産	-
負債合計	42,412,950
1 固定負債	37,978,807
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,128,699
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,682,254
(7) リース債務	2,167,854
2 流動負債	3,674,081
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	991,757
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	611,826
(6) リース債務	583,050
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,459,863
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	760,062
(1) 長期前受金	6,183,532
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,423,470
資本合計	6,763,022
1 資本金	8,763,762
2 剰余金	-2,000,740
(1) 資本金剰余金	3,250
(2) 利益剰余金	-2,003,990
負債・資本合計	49,175,972
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,256,706	2,256,706
資本勘定繰入	154,522	154,522
計	2,411,228	2,411,228

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	埼玉県
				市町村・組合名	川口市
				病院名	医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,984 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地		
診療科数	29	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	539	86.8	85.0	87.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	539	86.8	85.0	87.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	12.3	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	578,112	
決算規模(千円)	203,864,761	
標準財政規模(千円)	107,345,515	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.8
	将来負担比率(%)	7.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,253,376			
1 経常収益	18,253,320			
(1) 医業収益	16,735,060			
入院収益	11,171,112			
外来収益	4,658,423			
診療収入計	15,829,535			
その他医業収益	905,525			
(うち他会計負担金)	405,169			
(2) 医業外収益	1,518,260			
(うち国・都道府県補助金)	49,108			
(うち他会計補助・負担金)	719,094			
(うち長期前受金戻入)	611,668			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	56			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,068,511			
2 経常費用	19,068,508			
(1) 医業費用	18,145,076			
職員給与費	8,400,856	50.2	55.7	49.1
材料費	4,254,329	25.4	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,060,683	12.3	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,193,646	13.1	11.0	12.7
減価償却費	1,516,791	9.1	9.0	8.4
経費	3,917,531	23.4	23.3	20.7
(うち委託料)	1,894,006	11.3	11.5	11.6
研究研修費	36,982			
資産減耗費	18,587			
(2) 医業外費用	923,432			
(うち支払利息)	104,980	0.6	1.4	1.2
(3) 特別損失	3			
損益				
経常損益	-815,188			
純損益	-815,135			
累積欠損金	2,960,939			
経常収支比率	95.7		97.7	98.8
医業収支比率	92.2		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.2		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	6.7		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	6.2		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	89.8		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,525,555
1 固定資産	23,820,342
(1) 有形固定資産	23,491,297
(2) 無形固定資産	5,143
(3) 投資その他の資産	323,902
2 流動資産	3,705,213
(1) 現金及び預金	969,749
(2) 未収金及び未収収益	2,687,226
(3) 貸倒引当金()	7,639
(4) 貯蔵品	54,991
3 繰延資産	-
負債合計	17,414,302
1 固定負債	5,381,992
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,450,251
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,953,382
(7) リース債務	978,359
2 流動負債	2,983,801
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	582,965
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	535,330
(6) リース債務	342,137
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,483,576
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	9,048,509
(1) 長期前受金	20,715,010
(2) 長期前受金収益化累計額()	11,666,501
資本合計	10,111,253
1 資本金	5,033,237
2 剰余金	5,078,016
(1) 資本金剰余金	8,038,955
(2) 利益剰余金	-2,960,939
負債・資本合計	27,525,555
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.0
修正医業収益(千円)	16,329,891

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,719,860	1,124,263
資本勘定繰入	639,792	375,737
計	2,359,652	1,500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	埼玉県
				市町村・組合名	秩父市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,567 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	9	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	165	63.3	58.7	58.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	165	63.3	58.7	58.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	15.0	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	63,555	
決算規模(千円)	29,931,655	
標準財政規模(千円)	17,181,177	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	86.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.0
	将来負担比率(%)	23.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.8
修正医業収益(千円)	2,585,638

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,903,807			
1 経常収益	2,903,807			
(1) 医業収益	2,712,917			
入院収益	1,570,322			
外来収益	933,743			
診療収入計	2,504,065			
その他医業収益	208,852			
(うち他会計負担金)	127,279			
(2) 医業外収益	190,890			
(うち国・都道府県補助金)	1,387			
(うち他会計補助・負担金)	113,888			
(うち長期前受金戻入)	37,519			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,971,680			
2 経常費用	2,971,644			
(1) 医業費用	2,880,302			
職員給与費	1,456,217	53.7	55.7	61.3
材料費	510,995	18.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	225,133	8.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	262,532	9.7	11.0	8.2
減価償却費	187,942	6.9	9.0	10.2
経費	711,365	26.2	23.3	30.5
(うち委託料)	258,402	9.5	11.5	13.0
研究研修費	9,051			
資産減耗費	4,732			
(2) 医業外費用	91,342			
(うち支払利息)	2,316	0.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	36			
損益				
経常損益	-67,837			
純損益	-67,873			
累積欠損金	164,400			
経常収支比率	97.7		97.7	96.5
医業収支比率	94.2		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	89.6		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,220,385
1 固定資産	1,956,432
(1) 有形固定資産	1,932,364
(2) 無形固定資産	4,722
(3) 投資その他の資産	19,346
2 流動資産	2,263,953
(1) 現金及び預金	1,862,099
(2) 未収金及び未収収益	372,081
(3) 貸倒引当金()	6,640
(4) 貯蔵品	18,313
3 繰延資産	-
負債合計	1,210,535
1 固定負債	232,979
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	232,979
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	379,736
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	152,282
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	119,486
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	107,968
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	597,820
(1) 長期前受金	1,639,900
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,042,080
資本合計	3,009,850
1 資本金	2,651,006
2 剰余金	358,844
(1) 資本剰余金	22,944
(2) 利益剰余金	335,900
負債・資本合計	4,220,385
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	241,167	241,167
資本勘定繰入	29,418	29,418
計	270,585	270,585

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	埼玉県
				市町村・組合名	所沢市
				病院名	市民医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,246 m ²	指定病院の状況			
診療科数	6	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	49	59.0	48.4	49.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	59.0	48.4	49.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	16.2	19.7

設立団体の状況		
人口(人)		340,386
決算規模(千円)		113,074,590
標準財政規模(千円)		59,589,248
財政力指数		0.97
経常収支比率(%)		94.5
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.6
	将来負担比率(%)	6.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,854,370			
1 経常収益	1,854,370			
(1) 医業収益	1,434,165			
入院収益	312,157			
外来収益	563,428			
診療収入計	875,585			
その他医業収益	558,580			
(うち他会計負担金)	1,000			
(2) 医業外収益	420,205			
(うち国・都道府県補助金)	7,439			
(うち他会計補助・負担金)	391,418			
(うち長期前受金戻入)	16,968			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,888,448			
2 経常費用	1,887,391			
(1) 医業費用	1,846,273			
職員給与費	800,976	55.8	55.7	80.8
材料費	313,183	21.8	24.7	13.8
(うち薬品費)	225,814	15.7	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	86,877	6.1	11.0	4.9
減価償却費	93,077	6.5	9.0	12.9
経費	636,092	44.4	23.3	47.4
(うち委託料)	272,125	19.0	11.5	20.7
研究研修費	2,057			
資産減耗費	888			
(2) 医業外費用	41,118			
(うち支払利息)	305	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	1,057			
損益				
経常損益	-33,021			
純損益	-34,078			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.3		97.7	96.7
医業収支比率	77.7		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	21.2		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	27.4		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	21.2		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	77.5		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,655,969
1 固定資産	1,232,545
(1) 有形固定資産	1,187,478
(2) 無形固定資産	45,067
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	423,424
(1) 現金及び預金	239,780
(2) 未収金及び未収収益	179,147
(3) 貸倒引当金()	515
(4) 貯蔵品	5,012
3 繰延資産	-
負債合計	847,296
1 固定負債	357,050
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	101,890
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	210,497
(7) リース債務	44,663
2 流動負債	247,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,957
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	57,979
(6) リース債務	29,268
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	118,958
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	242,504
(1) 長期前受金	1,113,197
(2) 長期前受金収益化累計額()	870,693
資本合計	808,673
1 資本金	634,632
2 剰余金	174,041
(1) 資本剰余金	115,580
(2) 利益剰余金	58,461
負債・資本合計	1,655,969
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.6
修正医業収益(千円)	1,433,165

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	74,250	392,418
資本勘定繰入	-	-
計	74,250	392,418

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	埼玉県
				市町村・組合名	東松山市
				病院名	市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	13,805 m ²	指定病院の状況	救	感	輪
診療科数	12	看護配置	7	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	110	73.3	75.6	84.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.3	-	-
計	114	70.7	72.9	81.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	12.9	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	91,437	
決算規模(千円)	31,971,557	
標準財政規模(千円)	17,732,909	
財政力指数	0.88	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.0
	将来負担比率(%)	26.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.4
修正医業収益(千円)	2,422,512

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,916,374			
1 経常収益	2,916,374			
(1) 医業収益	2,463,988			
入院収益	1,403,581			
外来収益	855,025			
診療収入計	2,258,606			
その他医業収益	205,382			
(うち他会計負担金)	41,476			
(2) 医業外収益	452,386			
(うち国・都道府県補助金)	4,320			
(うち他会計補助・負担金)	426,695			
(うち長期前受金戻入)	7,590			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,178,861			
2 経常費用	3,178,861			
(1) 医業費用	3,050,978			
職員給与費	1,395,394	56.6	55.7	61.3
材料費	499,779	20.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	232,897	9.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	264,530	10.7	11.0	8.2
減価償却費	263,219	10.7	9.0	10.2
経費	882,942	35.8	23.3	30.5
(うち委託料)	351,421	14.3	11.5	13.0
研究研修費	6,754			
資産減耗費	2,890			
(2) 医業外費用	127,883			
(うち支払利息)	8,254	0.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-262,487			
純損益	-262,487			
累積欠損金	2,760,076			
経常収支比率	91.7		97.7	96.5
医業収支比率	80.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	19.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	16.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	77.0		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,121,854
1 固定資産	3,717,555
(1) 有形固定資産	3,713,394
(2) 無形固定資産	4,161
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,404,299
(1) 現金及び預金	1,090,117
(2) 未収金及び未収収益	308,947
(3) 貸倒引当金()	4,412
(4) 貯蔵品	9,232
3 繰延資産	-
負債合計	3,392,660
1 固定負債	2,875,219
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,364,851
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	507,111
(7) リース債務	3,257
2 流動負債	385,100
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	114,949
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	107,787
(6) リース債務	930
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	155,870
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	132,341
(1) 長期前受金	289,997
(2) 長期前受金収益化累計額()	157,656
資本合計	1,729,194
1 資本金	4,488,814
2 剰余金	-2,759,620
(1) 資本剰余金	456
(2) 利益剰余金	-2,760,076
負債・資本合計	5,121,854
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	468,171	468,171
資本勘定繰入	18,067	18,067
計	486,238	486,238

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	112.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	埼玉県
				市町村・組合名	春日部市
				病院名	春日部市立医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,600 m ²	指定病院の状況	救臨が感 輪		
診療科数	24	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	361	79.5	82.0	86.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	5.9	7.1	-
計	363	79.1	81.6	86.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	11.1	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	232,709	
決算規模(千円)	69,662,510	
標準財政規模(千円)	43,910,493	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.6
	将来負担比率(%)	8.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.3
修正医業収益(千円)	9,568,719

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,302,187			
1 経常収益	11,180,676			
(1) 医業収益	9,842,485			
入院収益	5,902,434			
外来収益	3,428,814			
診療収入計	9,331,248			
その他医業収益	511,237			
(うち他会計負担金)	273,766			
(2) 医業外収益	1,338,191			
(うち国・都道府県補助金)	24,589			
(うち他会計補助・負担金)	671,703			
(うち長期前受金戻入)	576,118			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	121,511			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,269,253			
2 経常費用	11,251,458			
(1) 医業費用	10,710,808			
職員給与費	4,459,480	45.3	55.7	57.0
材料費	2,916,125	29.6	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,974,062	20.1	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	942,063	9.6	11.0	11.3
減価償却費	874,270	8.9	9.0	9.3
経費	2,435,368	24.7	23.3	22.1
(うち委託料)	1,193,520	12.1	11.5	11.1
研究研修費	23,867			
資産減耗費	1,698			
(2) 医業外費用	540,650			
(うち支払利息)	50,571	0.5	1.4	1.4
(3) 特別損失	17,795			
損益				
経常損益	-70,782			
純損益	32,934			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.4		97.7	96.4
医業収支比率	91.9		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.6		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	91.0		85.7	85.3

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,187,444
1 固定資産	16,068,170
(1) 有形固定資産	14,899,746
(2) 無形固定資産	3,190
(3) 投資その他の資産	1,165,234
2 流動資産	2,119,274
(1) 現金及び預金	645,133
(2) 未収金及び未収収益	1,433,184
(3) 貸倒引当金()	9,990
(4) 貯蔵品	50,947
3 繰延資産	-
負債合計	16,720,888
1 固定負債	9,492,598
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,647,422
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	631,147
(7) リース債務	214,029
2 流動負債	2,087,943
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	521,609
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	328,782
(6) リース債務	171,165
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,026,773
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,140,347
(1) 長期前受金	6,938,556
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,798,209
資本合計	1,466,556
1 資本金	922,302
2 剰余金	544,254
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	544,254
負債・資本合計	18,187,444
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	945,469	945,469
資本勘定繰入	376,062	376,062
計	1,321,531	1,321,531

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	埼玉県
				市町村・組合名	草加市
				病院名	草加市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,431 m ²	指定病院の状況	救臨 災 輪		
診療科数	26	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	380	75.3	75.5	82.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	75.3	75.5	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	10.2	10.1

設立団体の状況		
人口(人)	247,034	
決算規模(千円)	76,729,868	
標準財政規模(千円)	44,128,950	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.1
	将来負担比率(%)	5.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.3
修正医業収益(千円)	10,397,809

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,471,814			
1 経常収益	12,442,804			
(1) 医業収益	11,069,964			
入院収益	6,788,006			
外来収益	3,476,786			
診療収入計	10,264,792			
その他医業収益	805,172			
(うち他会計負担金)	672,155			
(2) 医業外収益	1,372,840			
(うち国・都道府県補助金)	7,019			
(うち他会計補助・負担金)	687,073			
(うち長期前受金戻入)	585,289			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29,010			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,824,243			
2 経常費用	12,822,619			
(1) 医業費用	12,185,976			
職員給与費	5,321,004	48.1	55.7	57.0
材料費	2,881,022	26.0	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,465,149	13.2	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,415,873	12.8	11.0	11.3
減価償却費	1,084,208	9.8	9.0	9.3
経費	2,863,115	25.9	23.3	22.1
(うち委託料)	1,677,599	15.2	11.5	11.1
研究研修費	30,581			
資産減耗費	6,046			
(2) 医業外費用	636,643			
(うち支払利息)	134,182	1.2	1.4	1.4
(3) 特別損失	1,624			
損益				
経常損益	-379,815			
純損益	-352,429			
累積欠損金	4,134,366			
経常収支比率	97.0		97.7	96.4
医業収支比率	90.8		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.3		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	10.9		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	86.4		85.7	85.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,783,977
1 固定資産	11,828,223
(1) 有形固定資産	11,810,434
(2) 無形固定資産	1,059
(3) 投資その他の資産	16,730
2 流動資産	1,955,754
(1) 現金及び預金	98,569
(2) 未収金及び未収収益	1,714,352
(3) 貸倒引当金()	4,600
(4) 貯蔵品	147,226
3 繰延資産	-
負債合計	14,267,471
1 固定負債	6,779,211
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,529,099
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	248,112
2 流動負債	2,070,783
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	537,442
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	362,700
(6) リース債務	222,465
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	907,142
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,417,477
(1) 長期前受金	13,439,058
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,021,581
資本合計	-483,494
1 資本金	2,398,948
2 剰余金	-2,882,442
(1) 資本金剰余金	1,251,924
(2) 利益剰余金	-4,134,366
負債・資本合計	13,783,977
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	483,494
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,426,019	1,359,228
資本勘定繰入	489,272	440,772
計	1,915,291	1,800,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	埼玉県
				市町村・組合名	越谷市
				病院名	越谷市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,126 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	19	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	481	70.9	73.9	71.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	481	70.9	73.9	71.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	13.1	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	337,498	
決算規模(千円)	102,443,939	
標準財政規模(千円)	60,718,175	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	15.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,252,004			
1 経常収益	11,103,834			
(1) 医業収益	10,375,792			
入院収益	6,790,380			
外来収益	2,870,246			
診療収入計	9,660,626			
その他医業収益	715,166			
(うち他会計負担金)	538,000			
(2) 医業外収益	728,042			
(うち国・都道府県補助金)	10,502			
(うち他会計補助・負担金)	562,000			
(うち長期前受金戻入)	64,235			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	148,170			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,338,996			
2 経常費用	11,332,785			
(1) 医業費用	11,224,531			
職員給与費	5,769,089	55.6	55.7	54.0
材料費	2,643,006	25.5	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,319,264	12.7	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,231,117	11.9	11.0	12.2
減価償却費	650,348	6.3	9.0	7.9
経費	2,120,666	20.4	23.3	19.2
(うち委託料)	933,633	9.0	11.5	9.3
研究研修費	29,143			
資産減耗費	12,279			
(2) 医業外費用	108,254			
(うち支払利息)	73,596	0.7	1.4	1.3
(3) 特別損失	6,211			
損益				
経常損益	-228,951			
純損益	-86,992			
累積欠損金	1,100,497			
経常収支比率	98.0		97.7	98.8
医業収支比率	92.4		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.6		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	9.8		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	88.3		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,613,322
1 固定資産	7,093,788
(1) 有形固定資産	6,697,619
(2) 無形固定資産	2,805
(3) 投資その他の資産	393,364
2 流動資産	1,519,534
(1) 現金及び預金	84,553
(2) 未収金及び未収収益	1,344,530
(3) 貸倒引当金()	6,051
(4) 貯蔵品	94,269
3 繰延資産	-
負債合計	3,558,254
1 固定負債	2,109,972
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,864,142
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	245,830
2 流動負債	1,304,492
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	314,164
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	271,000
(6) リース債務	54,898
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	617,098
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	143,790
(1) 長期前受金	655,808
(2) 長期前受金収益化累計額()	512,018
資本合計	5,055,068
1 資本金	6,155,565
2 剰余金	-1,100,497
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,100,497
負債・資本合計	8,613,322
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.6
修正医業収益(千円)	9,837,792

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,100,000	1,100,000
資本勘定繰入	413,155	200,000
計	1,513,155	1,300,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	埼玉県
				市町村・組合名	蕨市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,866 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一 般	130	73.2	70.4	73.6
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	130	73.2	70.4	73.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	12.8	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	72,260	
決算規模(千円)	24,085,741	
標準財政規模(千円)	14,363,529	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	2,993,247			
1 経 常 収 益	2,993,163			
(1) 医 業 収 益	2,942,203			
入 院 収 益	1,264,160			
外 来 収 益	1,274,230			
診 療 収 入 計	2,538,390			
そ の 他 医 業 収 益	403,813			
(うち他会計負担金)	243,434			
(2) 医 業 外 収 益	50,960			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	11,902			
(うち長期前受金戻入)	598			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	84			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	3,033,860			
2 経 常 費 用	3,033,749			
(1) 医 業 費 用	2,938,338			
職 員 給 与 費	1,451,312	49.3	55.7	61.3
材 料 費	670,829	22.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	464,391	15.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	180,792	6.1	11.0	8.2
減 価 償 却 費	98,377	3.3	9.0	10.2
経 理 費	714,523	24.3	23.3	30.5
(うち委託料)	222,423	7.6	11.5	13.0
研 究 研 修 費	1,114			
資 産 減 耗 費	2,183			
(2) 医 業 外 費 用	95,411			
(うち支払利息)	1,908	0.1	1.4	1.6
(3) 特 別 損 失	111			
損 益				
経 常 損 益	-40,586			
純 損 益	-40,613			
累 積 欠 損 金	732,910			
経 常 収 支 比 率	98.7		97.7	96.5
医 業 収 支 比 率	100.1		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	8.5		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	90.2		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資 産 合 計	2,458,782
1 固 定 資 産	1,211,677
(1) 有 形 固 定 資 産	1,210,929
(2) 無 形 固 定 資 産	748
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	-
2 流 動 資 産	1,247,105
(1) 現 金 及 び 預 金	720,844
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	526,858
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	10,874
(4) 貯 蔵 品	10,277
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	860,713
1 固 定 負 債	631,511
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	101,762
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	523,794
(7) リ ー ス 債 務	5,955
2 流 動 負 債	222,584
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,313
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	92,953
(6) リ ー ス 債 務	3,394
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	110,974
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	6,618
(1) 長 期 前 受 金	16,790
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	10,172
資 本 合 計	1,598,069
1 資 本 金	2,284,992
2 剰 余 金	-686,923
(1) 資 本 剰 余 金	13,804
(2) 利 益 剰 余 金	-700,727
負 債 ・ 資 本 合 計	2,458,782
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.8
修正医業収益(千円)	2,698,769

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255,883	255,336
資本勘定繰入	51,745	1,582
計	307,628	256,918

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	埼玉県
				市町村・組合名	小鹿野町
				病院名	国民健康保険町立小鹿野中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	8,475 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	9	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	95	54.8	78.9	76.0
療養	-	-	81.6	84.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	95	54.8	80.4	80.5
平均在院日数(一般病床のみ)		23.9	21.0	18.5

設立団体の状況		
人口(人)	12,117	
決算規模(千円)	6,817,274	
標準財政規模(千円)	4,340,158	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	87.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	29.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.0
修正医業収益(千円)	1,046,468

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,440,931			
1 経常収益	1,440,931			
(1) 医業収益	1,076,468			
入院収益	631,135			
外来収益	318,995			
診療収入計	950,130			
その他医業収益	126,338			
(うち他会計負担金)	30,000			
(2) 医業外収益	364,463			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	250,517			
(うち長期前受金戻入)	76,605			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,373,606			
2 経常費用	1,373,606			
(1) 医業費用	1,324,253			
職員給与費	777,496	72.2	55.7	72.6
材料費	120,935	11.2	24.7	15.8
(うち薬品費)	39,716	3.7	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,848	6.2	11.0	5.6
減価償却費	80,477	7.5	9.0	11.1
経費	343,763	31.9	23.3	31.9
(うち委託料)	118,385	11.0	11.5	13.0
研究研修費	1,101			
資産減耗費	481			
(2) 医業外費用	49,353			
(うち支払利息)	15,658	1.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	67,325			
純損益	67,325			
累積欠損金	1,944,093			
経常収支比率	104.9		97.7	97.4
医業収支比率	81.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	19.5		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	26.1		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	19.5		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	84.5		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,278,571
1 固定資産	1,107,789
(1) 有形固定資産	1,107,789
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	170,782
(1) 現金及び預金	28,961
(2) 未収金及び未収収益	137,069
(3) 貸倒引当金()	1,138
(4) 貯蔵品	2,890
3 繰延資産	-
負債合計	1,236,758
1 固定負債	923,125
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	923,125
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	222,362
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	106,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	52,855
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	63,328
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	91,271
(1) 長期前受金	395,002
(2) 長期前受金収益化累計額()	303,731
資本合計	41,813
1 資本金	1,984,634
2 剰余金	-1,942,821
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,942,821
負債・資本合計	1,278,571
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	187,555	280,517
資本勘定繰入	59,226	59,226
計	246,781	339,743

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	180.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。